

令和7年度 シラバス

教 科	地理歴史	科 目	日本史研究	学 年	第3学年	学 科 類 型	普通科文系
単位数	2単位	教科書	新詳日本史（浜島書店）				
副教材	要点整理ゼミナール日本史（浜島書店）						

学習目標	2・3年生で学習した「日本史探究」を深化させ、地域や日本、世界の歴史との関わりを踏まえ、現代の日本の諸課題とその展望を探究する力を養います。
------	--

キャリア教育の視点	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めます。
-----------	---

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
2 学 期	8月			
	9月	1 原始・古代	原始・古代がどのような時代であったかを東アジアの動向と関連付けて考察し、総合的に理解する。	中間考査
	10月	2 中世	中世がどのような時代であったかを東アジアやユーラシアの動向と関連付けて考察し、総合的に理解する。	
	11月	3 近世	近世がどのような時代であったかを世界の動向と関連付けて考察し、総合的に理解する。	期末考査
	12月	4 近現代	世界の情勢の変化とそこにおける日本の相互の関係や、日本の近現代の歴史を、多面的・多角的に考察し理解すること、それらを踏まえて、現代の日本の課題を考察、構想する。	
3 学 期	1月	5 課題研究	有用な情報を適切に選択し、図表や写真を用いながらレポートをまとめる。	
	2月			
	3月			

学習の方法	教科書（主たる教材）と副教材を活用して授業を展開します。年表や地図のほか、文献資料、図像資料、遺物などの諸資料を活用して歴史を考察したり、その結果を表現したりする力を高めつつ、社会的事象の歴史に関わる見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察し、習得した知識や概念のより深い理解を図ります。また、数多くの演習を通じて出題傾向をつかみます。
-------	---

評価の仕方	評価の観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）に即して、定期考査の得点と平常点で算出します。
-------	--

備考	週当たり4時間単位で、9月から1月まで延べ70時間実施します。
----	---------------------------------